

東日本複合大災害を検証する

震災前、南相馬市小高区の小高赤坂病院は精神科医療を、双葉郡浪江町の西病院は内科系病院として共に地域医療を担い、地域住民にとってかけがえのない医療機関として長年にわたり住民からの期待と信頼を得てきた。しかし、あの日以来、地震、津波、原発事故による被曝の三重苦を背負うこととなり、4年を経た今、なお、多くの苦難の中にある。遅々として進まぬ復興の道のりで、被災病院の抱える諸課題は私たちに何を投げかけているのであろうか。2病院からの報告を受け、真の復興の道のりとは何かを共に考えていきたい。

福島第一原発事故による被害の実態と復興への道のり

～事故後4年を経た相双地域の病院からの報告～

報告1. 西病院（福島県双葉郡浪江町） 事務長 高塚昌利氏

報告2. 小高赤坂病院（福島県南相馬市小高区） 院長 渡辺瑞也氏

日時：平成27年5月15日（金）午後6時30分～午後8時30分

場所：仙台市シルバーセンター 6階 第2研修室
（ 仙台市青葉区花京院 1-3-2 ）

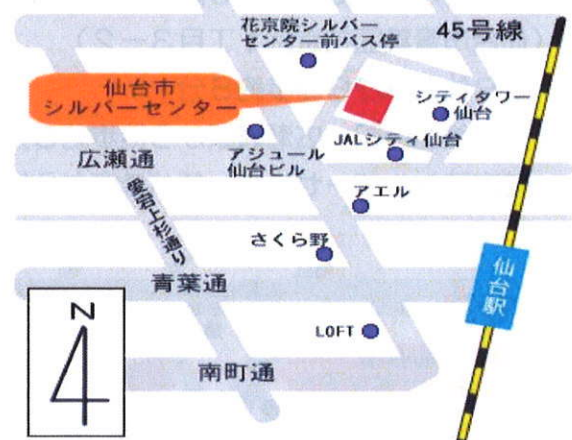
西病院の概要

昭和26年開院、浪江町唯一の病院。診療科目は内科、リハビリテーション科、神経内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科。被災時入院患者は77名。職員数81名。人工透析では常時約100名の患者に対応してきた。3月11日から14日の深夜まで職員が院内に踏みとどまり、最後の患者全員が他の医療機関へ搬送されるまで見届けた。現在、診療を休診。

小高赤坂病院の概要

昭和57年開院、精神科を主に診療を行ってきた。病床は104床でデイケアやショートケアを行ってきた。被災時104名、職員数80名。3月12日から1週間かけて全患者を無事に県内外の医療機関に分散避難・転院させることができた。現在、休診状態継続中。

【MAP】



※駐車場はご用意しておりません。
公共交通機関でお越しいただくか、お車でお越しの際は周辺の有料駐車場をご利用ください。

【お申込み方法】FAX またはメール（裏面参照）

申込締切 5月8日（金）

【参加申込書】

申込締切：5月8日（金）

※添書（送り状）は不要です。

あて先 みやぎ心のケアセンター 企画課（担当：平川、三浦） FAX：022(263)6750 MAIL: kokoro-kikaku@hotmail.co.jp	件名 研修会「東日本複合大災害を検証する」参加について（回答）	発信日 平成27年 月 日 発信者（公印不要）
--	------------------------------------	-------------------------------

御所属

御担当者

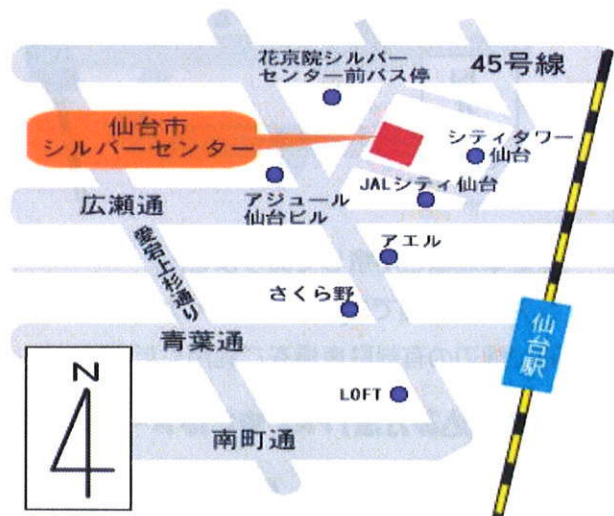
電話番号

	お名前	職種	備考
1			
2			
3			

【会場】

仙台市シルバーセンター6階 第2研修室
（仙台市青葉区花京院1丁目3-2）

- JR仙台駅から徒歩約8分
- 地下鉄仙台駅・広瀬通駅から徒歩約8分
- 花京院シルバーセンター前バス停から徒歩約3分



【ご注意】

- 駐車場はご用意しておりません。公共交通機関をご利用いただくか、お車でお越しの際は周辺の有料駐車場をご利用ください。
- 申込締切は5月8日（金）ですが、定員に達した時点で受付を締め切らせていただきますので、ご了承ください。

【お問い合わせ】

みやぎ心のケアセンター企画課（担当：平川）

TEL：022-263-6615

FAX：022-263-6750

MAIL：kokoro-kikaku@hotmail.co.jp